

# 映画 ○月○日、区長になる女。



2025年 1月12日 (日)

13時30分~16時30分

文京区民センター 3A会議室

(地下鉄 春日駅 2分・後楽園駅 5分)

## ■プログラム

13:30~13:40 この映画について

13:40~15:30 『映画 ○月○日、区長になる女。』  
上映 (110分)

15:40~16:30 トークシェア

## ■参加費：一般 1000円 若者 無料

(会場でお支払いください。予約不要で、どなたでも参加できます。)

『映画 ○月○日、区長になる女。』

2024年制作/110分/ペヤンヌマキ監督/ドキュメンタリー映画

製作・配給・宣伝・著作：映画 ○月○日、区長になる女。製作委員会



© 2024 映画 ○月○日、区長になる女。製作委員会

## 『映画 ○月○日、区長になる女。』

人口57万人、有権者数47万人という規模の区長選にも関わらず、わずか187票差で決着した2022年 杉並区長選挙。この選挙に立候補し現職を破った岸本聡子と彼女を草の根で支えた住民たちに密着したドキュメンタリー『映画 ○月○日、区長になる女。』

監督は杉並区在住の劇作家・演出家ペヤンヌマキ。

彼女が長年住むアパートが道路拡張計画により立ち退きの危機にあることを知り、止める方法を自身で調べ動き始めたのが本作制作のきっかけです。

監督自身が地域問題の当事者となり、今まで無縁の世界だった選挙、政治の世界へカメラ片手に飛び込み、住民たちと連携し、学び悩み記録でもあり、それ以上に候補者と支援者たちと悩み考えぶつかりながら、合意形成のため対話を積み重ねていくリアルなやり取りが数多く記録されています。

「この選挙方法で良いのか?」「住民要求とは?」「政策とは?」「そもそも公共とは?」

本作主題歌は、杉並区民が作った応援歌『ミュニシパリズム』を、黒猫同盟(上田ケンジと小泉今日子)がカバーした『黒猫同盟のミュニシパリズム』。「ミュニシパリズム」とは、地域に根付いた自治的な民主主義や合意形成を重視する考え方で、本作の重要なテーマとなっています。

そして選挙後に起こった動きに、新たな光を感じます。

私たちの生活は、政治と繋がっている、もう黙ってられない。○月○日、次はあなたかもしれない。

## 【監督 ペヤンヌマキ コメント】

「こんにちは、杉並区に住んで20年になるペヤンヌマキです。

私が住んでいる閑静な住宅街に大きな道路を通す計画があることを知りました。計画が進むと私の家は立ち退きになってしまいます。自分のことに精一杯で社会問題のことなんてちっとも考えてこなかった私ですが、自分の住まいが奪われる危機に直面して初めて、政治や選挙が私たちの生活につながっていることに気づきました。

そして・・・カメラを回し始めました。投票率を少しでも上げるために。

本当は、猫とまったりお昼寝したり、お気に入りの川沿いを散歩してバードウォッチングを楽しんだりしていたかっただけなんです。だけど黙っていたら、この生活が奪われてしまう。もう黙っちゃられない!これは現在私に起きていることであり、杉並区で起きていることであり、どこでも誰にでも起こりうること。」

(『映画 ○月○日、区長になる女。』公式サイトより)



## 憲法を考える映画の会

〒185-0024 東京都分寺市泉町3-5-6-303

mail: hanasaki33@me.com

TEL:042-406-0502 http://kenpou-eiga.com/

# 憲法を考える映画の会 (関連上映会) これまでの上映作品 (2013年4月~2025年1月)

<p>第1回 2013年4月06日 戦争をしない国 日本</p>	<p>第21回 2015年10月25日 首相官邸の前で</p>	<p>第45回 2018年9月23日 スペシャリスト 自覚なき戦線</p>	<p>第61回 2021年8月08日 荒野に希望の灯をともし</p>
<p>第2回 2013年5月19日 八十七歳の青春 市川房枝生涯を語る</p>	<p>第22回 2015年11月28日 ハーツ・アンド・マインズ ベトナム戦争の真実</p>	<p>第46回 2018年11月03日 OKINAWA 1965</p>	<p>自主制作映画見本市 #6 2021年9月26日 外国人収容所の闇/若者が代不起立/ 終わりの見えぬ闘い/ 間に消されてるものか</p>
<p>第3回 2013年6月15日 映画 日本国憲法</p>	<p>第23回 2016年1月31日 白バラの祈り ソフィー・ショル、最後の日々</p>	<p>第47回 2018年12月08日 南京！南京！</p>	<p>第62回 2021年11月21日 子どもたちの昭和史</p>
<p>第4回 2013年7月06日 日本国憲法誕生</p>	<p>第24回 2016年3月26日 グラニート 独裁者を追い詰める</p>	<p>第48回 2019年1月27日 わたしの描きたいこと</p>	<p>自主制作映画見本市 #7 2021年12月26日 原発の町を追われて/ハーレー市民がつくる町 高線と生きる/ 作兵衛さんと日本を撮る/いのちの海</p>
<p>第5回 2013年8月10日 日本の青空</p>	<p>第25回 憲法映画祭 2016年5月01日 映画 日本国憲法/ありふれたファシズム/ ショック・ドクトリン</p>	<p>第49回 2019年3月02日 天から落ちてきた男</p>	<p>自主制作映画見本市 #8 2022年3月13日 傍聴者あるいは偶然のテロリスト/ 海辺の彼女たち/ウィシユマ・サンダマリ/ オキュバジャンティ/ メトロレインブルース</p>
<p>第6回 2013年9月14日 ペアテの贈りもの</p>	<p>第26回 2016年6月26日 ザ・思いやり</p>	<p>第50回 憲法映画祭 2019年4月26日~28日 あの日の車を察して/天皇の名のもとに/ 証言 侵略戦争/陸軍前飛行場/ 沖縄スバド航空/ありふれたファシズム/ ショックドクトリン/ ベトナムから遠く離れて/共犯者たち</p>	<p>第63回 2022年2月06日 観劇</p>
<p>第7回 2013年11月02日 ショック・ドクトリン</p>	<p>第27回 2016年7月24日 ハトは泣いている 時代(とき)の肖像</p>	<p>第51回 憲法映画祭 2019年4月30日 死んだらではない/私の描きたいこと ハトは泣いている/隠された爪跡/ OKINAWA 1975/ 知事抹殺の真実/フクシマ2011</p>	<p>自主制作映画見本市 #9 2022年9月18日 2887/ワタシタチハニングンタ1/ 葫蘆島追送/岸辺の代</p>
<p>第8回 2013年11月30日 レーン・宮沢事件</p>	<p>第28回 2016年9月17日 焼け跡から生まれた憲法草案</p>	<p>第52回 2019年6月30日 憲法を考えるちいさな映画会 2019年7月14日 言わねばならないこと 遅すぎた聖断</p>	<p>第64回 憲法映画祭 2022年4月23日・24日 グレタひとりぼっちの挑戦/ちむぐりさ/ 私たちの生まれた島/若きハルサーたちの眼/ ハーレー市民がつくる町/日本鬼子/ 映画日本国憲法/コスタリカの奇跡</p>
<p>第9回 2014年1月18日 ニッポンの嘘 報道写真家 福島菊次郎90歳</p>	<p>第29回 2016年10月15日 NO (ノー)</p>	<p>第53回 2019年8月10日 ピカドン ひろしま</p>	<p>第65回 2022年8月13日 TOMORROW 明日</p>
<p>第10回 2014年2月08日・3月01日 “私”を生きる</p>	<p>第30回 2016年11月03日 わたしの自由について SEALDs 2015</p>	<p>自主制作映画見本市 #2 2019年9月23日 「在日」/証言 中国人強制連行/ レーン・宮沢事件/ファルージャ/ シロウト/生きるのに理由はあるの</p>	<p>第66回 2022年10月23日 教育と愛国</p>
<p>第11回 2014年4月12日 9条を抱きしめて</p>	<p>第31回 2017年1月29日 抗い ARAGAI 横浜事件を生きて</p>	<p>特別講演会 2019年10月22日 「現代天皇制の心の支配」山田朗先生 遅すぎた聖断</p>	<p>第67回 2022年12月25日 日本原 牛と人の大地</p>
<p>第12回 2014年5月24日 死んだらヒマはない 益永スミコ86歳</p>	<p>第32回 2017年2月25日 小林多喜二</p>	<p>特別上映会 2019年10月26日 ニジノキセキ</p>	<p>第68回 2023年2月12日 テロリストは誰?</p>
<p>第13回 2014年7月19日 ファルージャ イラク戦争 日本人入籍事件...そして</p>	<p>第33回 2017年3月26日 武器なき闘い</p>	<p>特別上映会 2019年11月03日 靖国・地霊・天皇 遠征を抱えて PART 2</p>	<p>第69回 憲法映画祭 2023年4月29日30日 はだしのゲン/対馬丸/うしろの正面だあれ/ 少女アニーと運命の旅/ ジョニーは戦場へ行った/沖縄うりずんの雨/ 教育と愛国/ある戦争</p>
<p>第2回 ちいさな映画会 2014年8月17日 僕たちは見た 沈黙を破る</p>	<p>第34回 憲法映画祭 2017 2017年4月29・30日 意志の勝利/白バラの祈り/夜と霧/ 顔のないヒトラーたち/戦争をしない国 日本/ 大東亜戦争/天皇と軍隊</p>	<p>自主制作映画見本市 #3 2020年1月13日 陸軍前飛行場/靖国・地霊・天皇 憲法を武器として/9条を抱きしめて 裁判所前の男/選挙が生まれる</p>	<p>第70回 2023年7月16日 ドキュメント石垣島/ 沖縄、再び戦場へ(仮) スピンオフ作品</p>
<p>第14回 2014年9月21日 ありふれたファシズム 野獣たちのバラード</p>	<p>第35回 2017年5月27日 知事抹殺の真実</p>	<p>第54回 2019年12月08日 主戰場</p>	<p>第71回 2023年8月6日 広島・長崎における原子爆弾の影響</p>
<p>第3回 ちいさな映画会 2014年10月4日 遠報辺野古の闘い 2014年8月 アルマジロ</p>	<p>第36回 2017年7月01日 テロリストは誰?</p>	<p>第55回 2020年2月11日 アフガニスタン 用水路が運ぶ恵みと平和</p>	<p>第72回 2023年10月21日 鶴形 こころの軌跡</p>
<p>第15回 2014年11月22日 ANPO あの熱かった時代の「抵抗」のアート</p>	<p>第37回 2017年8月27日 戦ふ兵隊 日本の悲劇</p>	<p>自主制作映画見本市 #4 2020年9月26日 ヒロシマナガサキ最後の二重爆撃 私たちは忘れない/二つの故郷を生きる 棘/人らしく生きよう/ 生きるのに理由はあるの</p>	<p>第73回 2023年12月23日 流血の記録 砂川</p>
<p>第4回 ちいさな映画会 2015年2月1日 スペシャリスト わが青春に悔なし</p>	<p>第38回 2017年10月14日 隠された爪跡 払い下げられた朝鮮人</p>	<p>第56回 2020年9月21日 沖縄と本土 一緒に闘う ヤジと民主主義</p>	<p>第74回 2024年2月3日 サイレント・フォールアウト</p>
<p>第16回 2015年3月14日 証言 侵略戦争 証言 中国人強制連行</p>	<p>第39回 2017年12月10日 ジョン・ラーベ 南京のシンドラー</p>	<p>自主制作映画見本市 #5 2021年2月23日 天皇の名のもとに/グラニート ザ・思いやり/チェルノブイリハート</p>	<p>第75回 憲法映画祭2024 2024年4月29日 ヤジと民主主義/しではら 荒野に希望の灯をともし/戦争のつくりかた/ ミサイル基地がやってきた 島で生きる/ サイレント・フォールアウト</p>
<p>第17回 2015年4月25日 イラク 戦場からの告発 ジャーハダ イラク爆撃の闘い シリア内戦 イスラム国の正体を暴く</p>	<p>第40回 2018年1月27日 憲法を武器として 憲法事件 50年目の真実</p>	<p>第57回 2020年11月03日 地の塩</p>	<p>第76回 2024年6月29日 アトミック・カフェ</p>
<p>第18回 2015年6月13日 井上ひさし 九条を語る 加藤周一 九条を語る 女性達にとっての日本国憲法</p>	<p>第41回 2018年2月25日 ザ・思いやりパート2 希望と行動</p>	<p>特別上映会 2020年11月23日 人らしく生きよう 国鉄冬物語</p>	<p>第77回 2024年8月11日 生きていてよかった/千鶴</p>
<p>第19回 2015年7月18日 東京裁判</p>	<p>第42回 憲法映画祭 2018年4月29・30日 すべての政府はウソをつく/ニッポンの嘘 東京裁判/NO/ハトは泣いている トランプのアメリカ</p>	<p>第58回 2021年3月27日 言わねばならないこと ショック・ドクトリン</p>	<p>第78回 2024年10月14日 琉球弧を戦場にすするな</p>
<p>第5回 ちいさな映画会 2015年8月23日 弁護士布施辰治 天皇の名のもとに</p>	<p>第43回 2018年6月3日・30日 500年 権力者を裁くのは誰か グラニート 独裁者を追い詰める</p>	<p>第59回 憲法映画祭2021 2021年4月17日 戦争のつくりかた/戦争をしない国日本 シャドー・ディール/ 1987. ある闘いの真実</p>	<p>第79回 2025年1月12日 映画 〇月〇日、区長になる女。</p>
<p>第20回 2015年9月13日 誰も知らない基地のこと</p>	<p>第44回 2018年8月25日 「在日」</p>	<p>第60回 2021年6月06日 ハワイレーン沖海戦 ドキュメント 真珠湾攻撃 ミッドウェイ海戦</p>	

●毎回の「映画の会の案内」をご希望の方は、表面のMailアドレスまで、その旨、お知らせください。